

● 一家を包んでくれた家に

ありがとう



太平洋戦争のあった中、小学校6年の私は静岡の浜松に学童疎開して、食糧も無く、勉強などせず、煙草ばかりで腹をすかせていました。父母は東京で蕎麦屋を営んでいました。戦争が始まってからは営業出来ず、親戚を頼って恵比寿のアパートに住まわせてもらってました。私は3人兄弟の末っ子で上には姉と兄がおりましたが、兄はずで結核で亡くなりました。

ある日、父が疎開先に訪ねてきました。迎えてきてくれたのです。私は「やっ」と喜び勇んで東京へ帰る事になりました。

ところが、帰る車中、父が「驚くなよ」とし、姉が「大好きだった姉ちゃん、涙がぼろぼろとこぼれ落ちました。姉も結核で亡くなったそうです。」

東京に帰り親子三人で生活しようとしますが、貧乏生活からは抜け出せず、父が出身地の知人を頼って一家で現在の高坂パークエリアの近くに引っ越しました。爾小室を一家の住み家として家族で野良仕事に精を出しました。

野良仕事に培われたもので、父は元来仕事に精を出すタイプの人で、反面教師となっていた。(父の生きた)父の踏ん張りや足りなかつたので、我々一家三人は恥をしのんで別々に知人や親戚を頼って居候をすることになってしまいました。

父は叔父を頼り、母も親戚をたよって行つてしまいました。私は住み込みでレコード店の店員となることになりました。昭和24年の事でした。

家族3人が集まるのは唯一皆仕事が終わった夜中にラーメン屋に集まる時だけでした。その時私は誓いました。絶対家族二人住めるようにする。自分

が頑張らねば誰がやる。」それから私は

馬車馬のごとく仕事に精を出しました。血液まで売りました。ようやく家族3人で住めるようになり都営住宅に引っ越しました。その後、結核を患いました。兄や姉を亡くした結核、しかし自暴自棄になつた私をたしなめ、色々な方々に支えま



我々の人生は波瀾万丈でした。感謝の気持ちがかわいてきます。私は様々な人に生かされてきたということ。体を丈夫に生かされてきたということ。送

り出すこと。両親や子供たちを送り出すこと。そしてこの家に感謝している子供たちをささえてくれた妻や両親、そして今後は残りの人生を楽しくしようとします。ありがとうございます。(目黒区八雲/H・K)

○奥様からの投稿です  
私は主人と結婚しましたが結婚式も満足にせず、狭い一間同然の都営住宅で親夫婦4人が同居する形で新婚生活とは形式だけのものでした。姑は厳

しい人で曲がった事がきらいで私は「はいはい」とお人形さんの様に従うしかなく、とても苦勞しました。主人も貧乏はしていましたが、両親にして

「お父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、ありがとうございます。」  
私は南太平洋にある小さな島に住んでいます。トモさんとユイト君(8歳)親子とロングビーチという白砂のビーチに遊びに行つた日のこと。ユイト君と8人でビーチの奥まで歩いて行くと、あちこちに漂流ゴミが点々と落ちていた。美しいビーチなのに漂流ゴミはいた

● ペットボトルに

ありがとう

ユイト君が「ゴミのペットボトル、探してちょうだい。蓋付きのね。」と私に言った。うん、あるある、あちこちに落ちて

いるけど、何のため? ユイト君は「ペットボトルにするの。」私「ペットボトル板?」

「今教えてあげるから。」と言って適当な空のペットボトルを拾って海に入つて行くと、そのペットボトルにつかまっ

「ほーら、これがペットボトル板だよ!」とユイト君が自慢げに言った。小学校のプールの時間にバタ足の練習に使つたペットボトル板だ!

空のペットボトルなら空気が入るので、浮き輪の代わりに使えるんだ。そんなことをしてビーチで遊んだ4

日後のこと、ニュースを見ていた私は「え、え、え、え!」とビックリした! タンカーから転落の男性無事 ペットボトルにつかまり漂流、救助!



いや、ユイトくん! 恐れいりました! 君の教えてくれたことは人の命も救えることだったのね。おばちゃん、とっても勉強させてもらいましたよ。大切な命を救う事もできる、空のペットボトル。緊急の場合のヒントを教えてください。ありがとうございます!

● 友人に

ありがとう

先日亡くなった父の49日法事のお香典というのには最高のお香典とお香を焚いてくださいと元来

お香を供えるそうです。現代では「お香を買ってください」とお金を差し上げるものだからです。

先日主人と喪中のお知らせを作つて出しました。数日して同級生の友人から宅急便がとどきました。

その友人の電話番号を知らなかつたので父の葬儀の知らせを出すのを忘れていたのです。桐箱に高価なお香が入つて

います。心づかいがとてもうれしくて涙が出てきました。私は友人に恵まれて幸せです。ありがとうございます。父もきっとよろこ

びました。さっそく仏壇にお香をたかせていただきます。(横浜市/Y・T)

●道を教えてくれた若者に

ありがとう



先日、主人と二人で最後の第二の住まいを見にゆきました。田園風景の広がるローカルな単線に乗って千葉駅につきました。千葉駅で下車して町を探索してみることにいたしました。

久しぶりの千葉駅周辺は新しい建物が建ち並び私も主人もすっかり浦島太郎の心境で、繁華街を進むうちに我々は迷子になってしまいました。

「とりあえず道を聞いてみよう」と声をかけたのが、だらしなくズボンを下げてはいている今風のファッション・髪型の若者でした。

私は「しまった。もっとちゃんとした人に聞けばよかった」と後悔しながらも「千葉駅の方角はどつちですか?」と聞きました。

すると意外にも若者はとても礼儀正しく「はい僕もそちら方向にゆきますので、ご一緒しましょう。」と一緒に歩いてくれました。

じつは私は先日、大病を患い、手術をうけたばかりでした。術後間もないのでゆっくりしかあるけない私に青年は歩調をあわせて歩いてくれます。

駅までの道すがらお喋りしながら聞いてみると青年は、予備校に通う受験生でした。親に負担をかけられないので公立の大学を目指しているとのことでした。

駅に着くと青年は「どちらまで帰られるのですか?」と聞きます。青年は津田沼まで帰るそうでした。「東京方面なら快速が速いですよ。僕も同じなのでご一緒しましょう。」と先導して

くれます。車中楽しくお話ししてもらいました。青年と別れたあとで主人と私は「人をみかけで判断してはいけないね。とてもよい子だったね。」と話し合いました。

最近の若い者は・・・とよく嘆いていましたが、「まだまだ日本のわかものも捨てたものじゃないね。ああいう青年がいるなら楽しみだね。」って主人と話ながら帰ってきました。

親切にしてくださいありがとうございました。楽しいお話をありがとうございました。

私たち夫婦はまだまだ人生を楽しませていただきます。千葉県が好きになりました。

(目黒区中央町／T・N)

●親子で来店されるお客様に

ありがとう

私は理髪店をやっています。仕事柄お客様と向き合い調髪しますので会話がおぼろげなもので、よく人生相談をされたりもします。先日いつもの男性のお客様がみえて暗い顔をしています。

調髪中もだまってぼーっとしているので「どうかしたんですか?」と聞いてみました。なんでも、息子さんがかきこもって学校に行かずにやんでいるということでした。私には何も助言が

出来ずにただ聞いていただけでした。何日かして先日のお父さんの息さんが来店されました。

調髪しながら、悩みを聞いてみました。すると彼は「すらすらと、親子関係の事、学校のこと、彼は彼なりに悩み、そして両親に言えずにいる事を話してくれまし



た。心がいっぱいいっぱいになって引きこもっていたようです。後日お父さんが来店された時にお伝えすると、「ありがとう。息子はそんな事で悩んでいたのですか。話し合ってみます。会話が少なかったです。」と帰ってゆかれました。

最近では親子で話し合われた結果、息子さんも元気に学校に通っているそうです。お役に立てて私はとてもうれしいです。

それに私の息子もいずれば青年になり、同じような問題が出てくるという事を教えていただいていたありがとうございます。

(横浜市戸塚区／K・E)

●平和であることに

ありがとう



先日お友達のおばあさんのお宅におじゃましました。ご主人が21才の時に将校として戦地に旅立つ直前に書かれた「遺言」を読ませていただきました。

ご両親を案じて子孫が途絶える事の無念さや養子をもらって欲しいという希望。両親の健康を案じている内容。そして生んで頂いた事への感謝。先に逝く事を決して悲しまないでほしいという心遣い。

読み進むうちに涙があふれてきました。戦争を知らない私の世代は平和でいられる事に感謝せねばならないと感じました。

そして戦争で亡くなられた方々がいるから我々が平和でいられるのだと感謝し、そして二度と戦争をおこしてはいけないと感じました。

(ありがとう・不動産/豊田泰幸)

【携帯 Deショット】

大きな霜にも枯れず 薫れや 白菊 黄菊 綺麗に咲いたよ 大きな霜にも枯れず 薫れや 白菊 黄菊 綺麗に咲いたよ 大きな霜にも枯れず 薫れや 白菊 黄菊 綺麗に咲いたよ



- 携帯電話の方はQRコードから
●パソコンの方は下記のURLから
http://1039.seesaa.net/
●メールでのご投稿は... info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニクス総研・編集部

【原稿をお待ちしています。】



本誌は北海道から沖繩までの友人知人から寄せたいだいたい「ありがとう」の句、短文、詩、俳句、短歌、写真、絵画などを掲載します。作品は編集部までお送りください。投稿いただいた方には、ささやかではございますが、オリジナル「ありがとうマガネ拭き」をプレゼントさせていただきます。皆様からのご投稿をお待ちしております。

